

「限りある未来を搾り取る日々」
スピッツの「愛の言葉」の出だし。

これのせいか否かはわからないけれど、
未来っていうとマヨネーズなんかのチューブを思い浮かべる。
チューブがさかさまになっていて、僕は出てくるものを味わう。
人によっては大きいチューブも、小さいチューブも持っている。
口の大きいものもあれば、細くて中身が出てこないものもある。
ある人は必死に搾り出そうとして、別の人は口を塞ぐ。
一人はチューブを振り回し、奥に潜んでいる中身を先に出そうと試みる。
一方では同じ行為で近くのを遠ざけようとする。
人のチューブに何かを放り込もうとする人もいる。

でも中身自体は変わらない。質が悪くなったりはする。
中身がべったりしているせいで苦労は伴うが順番はある程度変えられる。
搾り出しても、口を塞いでもその人の持つ総量は変わらない。
大きいチューブでもすかさずで空気だらけであつたり、
小さいチューブに濃密なものがぎゅっ詰まっていることもある。
横から穴を開けて中身を捨てようとする人もいる。

そんな、イメージ。

ぼんやりと、儚げに。

形は、定まらない。

揺れる、ゆらめく、動く。

最も揺れ動いてわからないのが、自分のチューブ。

形も大きさも、中身も色もさっぱりわからない。

わかるのは、その量に限界があることだけ。

それだけ。

パソコンと仮想

皆さんはパソコンを使うときにハードウェアによる操作性の違いを感じるだろうか？もしあなたが同じバージョンの（必要ならば同じエディションの）オペレーションシステム（以下はOSと表記）を使っているとしたら、おそらくどのマシンでも同じ操作が通用していることと思う。これは考えてみれば画期的なことである。なぜならマザーボードを始めとしてメモリー、ハードディスク、CPU等の製品ごとの差を吸収して、同一のインタフェースを提供しているからだ。

もともとパソコンは仮想（化技術）と縁が深い。先ほどのハードウェアの差異を吸収しているのはドライバというものののだが、これについて述べる際限が無く、また抽象的すぎるため今回は、もつとつつきやすいファイルシステムとバーチャルプライベートネットワーク（以下はVPNと表記）について紹介しよう。ただ、ファイルシステムといつてもさまざまな種類があるため、よく普及していてかつ使用頻度が一番高いと思われるNTFS (NT File System) を題材とする。

ファイルシステムとは大雑把に言うデータとデータをどのように管理するかである。NTFSの場合、データはクラスタという単位でディスクに書き込まれ、マスターファイルテーブル（以下はMFTと表記）というファイルで管理される。具体的にはC:\Program Files\abco\abc\def.exeというファイルへアクセスした場合、実際にはクラスタ単位でディスクのどこかに書き込まれているデータの集合体を参照していることになる。重要な点は、実際には存在しないディレクトリや（連続体としては存在しない）ファイルを仮想的なオブジェクトとしてユーザーへ見せていることである。

VPNとは暗号技術を利用して公衆回線（インターネット）を専用回線であるかのように見せることである。実際の専用回線と比べると速度の面では劣るもののセキュリティは十分に確保される。SSL・VPNが有名どころだろう。SSL・VPNを大雑把に説明するとアプリケーションが外部と通信をしようとしたときにデータがSSLで暗号化されたトンネルを通るようにし、到着先では通常の（暗号化されていない）通信経路を通ってきたかのように見せることである。VPNでポートとなるのは、実際には存在しない専用回線を暗号技術を利用することによりあたかもそこに存在するかのように見せるところである。

このようにパソコンはその性質（物事を抽象化して処理する）ゆえに仮想化と深い縁があるのである。普段は気づかないが実は身近なところにある仮想（化技術）について少しでも実感されていたければ幸いである。

用語について

「インターフェイス」 文中ではユーザーインターフェースの意味で使用。実際に機械が人と接するところの仕様を指す。

[NTFS] 最近のWindowsで標準採用されているファイルシステムの1つ。他にはFAT、Linuxで使われるXFS、EXT3などがある。

[SSL] Secure Socket Layerの略。共通鍵暗号を採用し、普通は認証局が発行する証明書とともに使用される。

1 ゲームオーバーの重要性 3位 7Up

あなたは しにました —— いきなり真っ赤なインパクトで、ぐさり。いつものほんわか表紙とは違った展開で仕掛けてきたTAさんたちです。

実感から立ち上げて、受動参加と能動参加など擁護も緻密に定義して説得力のある仕上がりでした。

2つほど注文。

- ・テレビの専門家さんのリセット論は、誰でも連想するので、ここ、もう少ししていねいに反論したい

- ・ラストの「！」が騒々しい。しっかり考えたあとは、静かに着地したほうが読者の共感を誘いやすいのでは。

イチオシフレーズ：「あなたは しにました」

2 (無題) 『ふしぎな国のアリス』 2位 8Up

お約束ですねー、病室の女の子。著名なのや、そうでないのや、いろんなオハナシの中に入り込みつつ、ふと現実に戻る、という展開と見せて、でもそれも『無題』のオハナシ。

何だか不思議な、ふわふわした童心タッチがここちよい。ラスト一行のつぶやきのせつなさ、さて師匠を超えられたか!?

イチオシフレーズ：「ふしぎな国のアリス」

3 頭を紡ぎ夢と遊べ 9位 0Lv

夢から醒めてもまだ夢で……と、ずーっと入れ子構造になっている閉塞感(のようなもの)。みごとな表現で伝わってきます。特に「影」の不気味さが秀逸。

そして謎まで！ 「あかいゆめとおどろう あおいゆめにのまれないように」グレート!!です。

4 仮想と現実 1位 27Up

わー、ダメされました。幸せと見せかけてじつはナンチャッテという悲劇はありがちだけれど、その逆を行って、どかーんと思いつきり意表を衝かれました。ずっと一人称トークで通しておきつつ、このどんでん返しに持ってこられるのは、すごい。

それにしても27ポイントなんて、ありえないほどの強さでしたね。8つの班が首位に、残りが2位と3位にという結果でした。

心からおめでとう!!!!!!

イチオシフレーズ：「わはははははははははは・・・」×3で今週のイチオシフレーズ大賞もわはははは、です。

5 (無題 三重人格) 8位 1Lv

ホントの自分はどれ？ と底無し沼に引きずり込まれる多重人格の怖さが、殺人というカゲキなシーンをアクセントに立ち上げられて、人の心の深淵をのぞき込む思い。

ただ、第三段落が説明的に過ぎた感。

6 NICE TO MEET YOU 3位 7Up

うわーそんな悲劇。

登場人物二人だけで世界が完結してしまうなんて、なんて省エネな。まるで神話世界。

ちょっと先の未来にはありそうなりアリティですが、どうせなら夕飯の買い物のくだりも未来を感じさせる演出にしたらどうだったでしょう。

イチオシフレーズ：「ハジメマシテ」

7 ライバルは親友 5位 4Lv

乾いた印象。熱い男の友情のしんみりしたお話なのに、なぜか定石通りに運んでしまっただけのポキポキした感じ。たとえば石田の完璧っぷりとか、すばらしすぎてリアリティがないです。お題が「仮想」だから、わざとそうしたのかなあ、と思ったら、ハズレのようで。

8 電腦遊戲 5位 4Lv

くるりと因果がきれいにめぐって、まさにPK負け！ の気分。あざやかです。

現実とヴァーチャルとの一瞬のスパークがドラマ。さっすが師匠。

9 リアルとバーチャルの垣根 7位 2Lv

人格を売るだけのお気楽商売に見えて、突如、現実にくいと侵入してくる魔の手。催眠術ですべてを説明するのは強引ですが、詐欺のトリックはふうん、と。

10 現実と仮想の境界 9位 0Lv

シンプル、わかりやすい。けど、ありきたり、ものたりない。

もっと、ラストでぞくっと行きたいところ。

惜しい1「限りある未来を搾り取る日々」

人生はマヨネーズ・チューブ。あまりに突飛なたとえにびっくりしつつ、自分がつかんだイメージをいっしょうけんめい相手に伝えようとする真剣さに打たれました。

惜しい2 パソコンと仮想

教科書みたいにぎっしり。降参。
みなさまは軽々とクリアされたのでしょうか？

祝 今週の受賞作品

班名	賞タイトル	作品番号
きゅうり	姉貴の本賞	6
Rであーる	どれもどれもで賞	全部
Simulation	何をしたんで賞	4
ToT	仮想と関係がないで賞	7
U	ゆう賞	9
\ ° ° /	第二回小学生賞	2
Wアサルトバスター	鬼隠し賞	4
Xeon	冒険の書 1 はきえました賞	1
cYber	読賞	2
Zzz...	第六感綾田賞	1 0